【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公表番号】特表2005-537717(P2005-537717A)
【公表日】平成17年12月8日(2005.12.8)
【年通号数】公開・登録公報2005-048
【出願番号】特願2004-531608(P2004-531608)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｑ　7/36　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　7/26　１０５Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月22日(2006.8.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無線アクセス・ネットワーク内のアクセス・ポイント用の無線周波数チャネルを、複数の利用可能な無線周波数チャネルから、選択する方法であって、
（ａ）無線周波数チャネルを前記複数の無線周波数チャネルからランダムに選択するステップと、
（ｂ）前記選択された無線周波数チャネルをランダム期間の間モニタして、前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送しているか否かを決定するステップと、
（ｃ）前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送していない場合、アクセス・ポイントが前記選択された無線周波数チャネルに対してトラフィックの伝送を要求するステップと、
を含む方法。
【請求項２】
前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送していることが判明すると、
（ｄ）別の無線周波数チャネルを選択するステップと、
（ｅ）前記別の選択された無線周波数チャネルについて、前記（ｂ）のステップと前記（ｃ）のステップを繰り返すステップと、
を行う、請求項１記載の方法。
【請求項３】
別の無線周波数チャネルを選択する前記ステップが、前に選択した無線周波数チャネルから所定のチャネル間隔値だけ離間した新たな無線周波数チャネルを選択するステップから成る、請求項２記載の方法。
【請求項４】
全ての利用可能な無線周波数チャネルが前に選択されている場合、前記チャネル間隔値を低減するステップと、
前記前に選択された無線周波数チャネルから、低減されたチャネル間隔値だけ離間した新たな無線周波数チャネルを選択するステップと、
を含む、請求項３記載の方法。

【請求項５】
前記決定するステップが、
所定の最短チャネル・モニタリング期間と所定の最長チャネル・モニタリング期間とを選択するステップと、
前記所定の最短チャネル・モニタリング期間と前記所定の最長チャネル・モニタリング期間との間で、前記ランダム期間を設定するステップと、
を含む、請求項１記載の方法。
【請求項６】
前記（ｄ）のステップと前記（ｅ）のステップが、全ての利用可能な無線周波数チャネルがモニタされるまで、繰り返される、請求項３記載の方法。
【請求項７】
無線アクセス・ネットワーク内のアクセス・ポイント用の無線周波数チャネルを、複数の利用可能な無線周波数チャネルから、選択する方法であって、
（ａ）最後に使用したチャネルが使用可能であるか否かを決定し、そのチャネルの使用を要求するステップと、
もし、前記最後に使用したチャネルが使用可能でない場合、
（ｂ）無線周波数チャネルを、前記複数の利用可能な無線周波数チャネルの中から、ランダムに選択するステップと、
（ｃ）前記選択された無線周波数チャネルをランダム期間の間モニタして、前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送しているか否かを決定するステップと、
（ｄ）前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送していない場合、アクセス・ポイントが前記選択された無線周波数チャネルに対してトラフィックの伝送を要求するステップと、
を含む方法。
【請求項８】
前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送していることが判明すると、
（ｅ）別の無線周波数チャネルを選択するステップと、
（ｆ）前記別の選択された無線周波数チャネルについて、前記（ｃ）のステップと前記（ｄ）のステップを繰り返すステップと、
を行う、請求項７記載の方法。
【請求項９】
別の無線周波数チャネルを選択する前記ステップが、前に選択した無線周波数チャネルから所定のチャネル間隔値だけ離間した新たな無線周波数チャネルを選択するステップから成る、請求項８記載の方法。
【請求項１０】
全ての利用可能な無線周波数チャネルが以前選択されている場合、前記チャネル間隔値を低減するステップと、
前記前に選択された無線周波数チャネルから、低減されたチャネル間隔値だけ離間した新たな無線周波数チャネルを選択するステップと、
を含む、請求項９記載の方法。
【請求項１１】
前記決定するステップが、
所定の最短チャネル・モニタリング期間と所定の最長チャネル・モニタリング期間とを選択するステップと、
前記所定の最短チャネル・モニタリング期間と前記所定の最長チャネル・モニタリング期間との間で、前記ランダム期間を設定するステップと、
を含む、請求項７記載の方法。
【請求項１２】

前記（ｅ）のステップと前記（ｆ）のステップが、全ての利用可能な無線周波数チャネルがモニタされるまで、繰り返される、請求項９記載の方法。
【請求項１３】
無線アクセス・ネットワーク内のアクセス・ポイント用の無線周波数チャネルを、複数の利用可能な無線周波数チャネルから、選択する装置であって、
（ａ）無線周波数チャネルを前記複数の無線周波数チャネルからランダムに選択する手段と、
（ｂ）前記選択された無線周波数チャネルをランダム期間の間モニタして、前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送しているか否かを決定する手段と、
（ｃ）前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送していない場合、アクセス・ポイントが前記選択された無線周波数チャネルに対してトラフィックの伝送を要求する手段と、
を含む装置。
【請求項１４】
前記選択された無線周波数チャネルが、現在、トラフィックを伝送していることが判明すると、前記要求する手段が別の無線周波数チャネルを選択し、前記決定する手段が前記別の無線周波数チャネルをトラフィックについてモニタする、請求項１３記載の装置。
【請求項１５】
前記要求する手段が、前に選択された無線周波数チャネルから所定のチャネル間隔値だけ離間した別のチャネルを選択する、請求項１４記載の装置。
【請求項１６】
選択しようとする利用可能な無線周波数チャネルが全て無くなると、前記要求する手段が、前記チャネル間隔値を低減して、その後、前記前に選択された無線周波数チャネルから、低減されたチャネル間隔値だけ離間した別のチャネルを選択する、請求項１５記載の装置。
【請求項１７】
前記決定する手段が、所定の最短チャネル・モニタリング期間と所定の最長チャネル・モニタリング期間とを選択し、前記所定の最短チャネル・モニタリング期間と前記所定の最長チャネル・モニタリング期間との間で前記ランダム期間を設定して、前記選択された無線周波数チャネルをモニタする、請求項１３記載の装置。